

(写真：8/22(土) みんなで花火をあげよう：端野町公民館横メルヘン広場より)

# たんの地域振興だより



発行/編集：端野総合支所 総務課 地域振興担当 (TEL56-2113)

「夏の終わり・・・豊穣の秋へ」

◆端野自治区の夏を彩る「みんなで花火をあげよう」や「太陽まつり」も終わり、9月からは実りの秋。このまま穏やかな天候が続き豊穣の秋になることを祈ります。

◆端野自治区では、9月も行事が目白押し。9月12日(土)は敬老会、9月13日(日)は端野神社みこし渡御、9月20日(日)はカレーライスマラソン。

◆近年のカレーライスマラソンは全国から参加するほど有名になり、今年で30回目。スポーツの秋と食欲の秋を兼ね備え、順位を争うのではなく、運動と交流、地産地消を取り入れたレクリエーションスポーツで、本当に良くできたイベントだと思います。これまでの長年にわたる関係者の皆様の努力と苦勞の賜ものではないでしょうか。

◆前号から引き続き、より身近な総合支所を目指し、まずは職員を知っていただくため、4月の人事異動で新たに端野自治区に配属された職員を紹介いたします。今回は道路等を担当する職員と図書館を担当する職員を紹介します。



【職員紹介】  
建設課  
土木係

小林 一水  
(こばやし かずみ)  
端野在住

合併と同時に北見自治区へと異動となり、9年振りに端野自治区に戻ってきました。端野を離れて、端野の住民や職員の皆様の暖かさをあらためて実感することも多く、今はそうした思いを大切に、微力ながら職務にあたる毎日です。

旧端野町時代の住民や諸先輩の多くは退職等で現役を退いており寂しさを感じますが、「公務員の基本は現場」という教えを忘れずに、初心の気持ちで頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



【職員紹介】  
端野図書館  
奉仕係長

嘉村 準市  
(かむら じゅんいち)  
北見在住

4月の人事異動で端野図書館、端野町歴史民俗資料館に異動してまいりました嘉村です。初めての端野自治区での勤務に、土地勘もなく戸惑う事ばかりですか、周りの人たちに助けられています。

図書館、資料館の利用者の方の少しでも役に立てよう、元気に明るく対応してまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



## 【 端野の夜空を飾る「希望の力」 】



今年で9回目の「みんなで花火をあげよう」(花火大会)が端野町公民館横のメルヘン広場で8月22日(土)PM6:00から開催され、端野の夜空を鮮やかに飾りました。



当日は、少し肌寒く、後半は霧雨も降りだしましたが、大勢の方々が訪れ約1000発の花火に酔いしれました。花火のクライマックスが煙によって隠れてしまったのが残念でしたが、曲に合わせた花火構成なので、途中で止めるわけにもいきません・・・残念。

この「みんなで花火をあげよう」は、小田大典会長をはじめとした実行委員の皆さんによって開催されていますが、チケット代の一部が花火代になっており、チケットを買っていただいた皆さんによって花火が打ち上がっているものです。まさに「地域住民の力」で打ち上げる「住民協働」の花火と言えるものです。



地域住民の力で花火をあげる、この「花火大会」には実行委員のみなさんのほかに、多くのボランティアの方々もあります。

6年前(H21)から、札幌の大学生グループ「テスク&祭人(まつりんちゅ)」のみなさんが手伝いに来てくれています。北大生を中心とした「よさこいチーム」で今年もファイナルステージに3年連続で進出。道内各地のお祭りに参加し、準備や運営のお手伝いをしています。

今年も、端野に23名の「テスク&祭人」が「花火大会」と「太陽まつり」の手伝いに来てくれました。



「テスク&祭人(まつりんちゅ)」のみなさん

多くの方々のご協力があってイベントは行われています。この夜空を彩った花火大会の陰には、翌日の朝5:30から花火の残骸と会場のゴミ拾いを行っている「裏」の苦労があります。



端野地域を支えていただいている「表」と「裏」のご苦勞に、感謝いたします。